

吉岐新報

11月23日(金)

発行所 (株)吉岐新報社
〒811-5136 長崎県吉岐市
郷ノ浦町片原触 247-7
TEL/FAX 0920-47-3196
ikishinpou@oboe.ocn.ne.jp
HP ikishinpou.com
発行 毎週金曜日
購読料 1ヶ月1,000円(税・送料込)
発行人 大野英治
編集長 武田嘉人



ホームページ iki-islandpress.jp

悪天候で吉岐だけで実施 勝本港に汽水6mはある岸壁必要

本市初の原子力防災訓練



市勝本庁舎に設置された災害対策本部

悪天候により本市だけの実施となった、原子力防災訓練が17日午前7時半、市勝本庁舎に災害対策本部が設置され、東日本大震災での福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、原発の事故を想定した避難訓練などが行われた。

発から30分圏内にかかる本市で、初の原発事故に対応するための今回の防災訓練は、対策本部には市、県、岐振興局、吉岐海上保安

署、吉岐警察署、市消防本部、市消防団、自衛隊などの関係機関が集結、刻々と変化する状況に対応するべく、協議を重ね、市内の南部地域を中心としたポイントで放射線量を測定、避難対策に欠かせない緊急時モニタリング訓練が行われた。



かざはやでの放射能汚染検査や問診

は、隣近所に声を掛けて皆で助け合いなから避難します。久喜から避難訓練に参加した田中源治さん(66)は「目の前に玄海原発が見えるだけに、常に漠然とした不安を感じていた。訓練ではあるが、実施されたことで自分がどう動けばいいかなどおおよそわかり、安心できたように感じられてとても良かったと思う。いざという時のために訓練を続けてほしい」と話した。

国特別史跡に追加指定へ 原の辻遺跡、国文化審答申

国の文化審議会(宮田亮平会長)は16日、本市芦辺町と石田町にまたがる国指定特別史跡・原の辻遺跡の指定されている面積を広げるための追加指定をするよう田中真紀子文部科学大臣に答申した。

追加指定の理由は、原の辻遺跡は、吉岐島南東部の台地から平野部に所在する弥生時代の大規模な環濠集

角が追加指定されることになったとされ、今後は墓域と集落にまたがる場所での発掘調査により、中国、朝鮮半島系の土器や貨幣などの遺物や日本最古の船着き場跡など、貴重な遺構や遺物が発見されている。今回、土地所有者の同意が得られたことから、集落南部の墓地群が広がる区域の一



巡視艇で避難してきた原島の住民

「吉岐をもっと知ろう」
探訪バスツアー
吉岐島活性化集団・チーム防人の「吉岐のこと、もっと知ろう」探訪バスツ

吉岐焼酎パラダイス
2012年12月1日(土)
場所: 吉岐文化ホール(中ホール) / 時間: 16:00~
今年もやります! ああ懐かしの昭和の角打ち横丁
焼酎子屋コーナー
焼酎スイーツ各種

吉岐焼酎パラダイス
2012年12月1日(土)
吉岐文化ホール(中ホール)
時間: 16:00~
そこまで呑んで委員会

ながさき音楽祭2012
いきいきプラス オータムコンサート
日時: 11月24日(土)
会場: 吉岐文化ホール大ホール
出演: ステイト・プラス
吉岐高等学校吹奏楽部
郷ノ浦中学校器楽部
コールリーベ女声合唱団